
妖怪達来る！

屍斗`

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妖怪達来る！

【Nコード】

N5890F

【作者名】

屍斗[〃]

【あらすじ】

古くからボンゴレにあると言われるボンゴレ裏暗殺部隊・・・その者はすべて・・・人間ではない・・・そんな者達が日本にいる、ボンゴレ10代目、沢田綱吉の元へやってきて・・・！？

日本へ来た理由来る！

ボンゴレ裏暗殺部隊・・

それは、極秘扱いの部隊、

そこに所属する者は、人間ではない・・人間は誰一人としていない
そこに所属できる者は・・

妖怪のみ

そして・・薄暗い部屋

あたりには血の匂いがぷんぷんしている・・

もちろん、血痕や・・飛び散った血の跡もある・・

そして・・そんな部屋に一人の女・・いや男が居る

彼の名はレイ・クロード・・だが、これは過去の名、今はファン
トムという名だ、

彼がこの部屋にいるのは・・

捕まっているからだ

目には目隠しをされ、手足は手錠と鎖で縛られ、その上からさらに
ロープで巻き、口はガムテープでふさがれている・・

だが、すでに口に貼られたガムテープには無数の穴があいていた

そして・・・頑丈そうな檻にも入れられている・・・鍵も厳重に簡単には開けられないように、何重にもなっている

何故ここまでも厳重かというと・・・

彼は人間ではない生物だから・・・彼は不死身のヴァンパイア、普通ならこんな風に捕まるはずもない・・・だが、彼はある人物のために捕まった

ボンゴレ1世の命のために・・・

彼は、ボンゴレに属しながらも・・・殺し屋としても働いていた、

そして・・・彼の元へボンゴレ1世の暗殺依頼が来た・・・

だが、彼には殺せない・・・

ボンゴレ1世に忠誠を誓っている彼は・・・絶対に、

そのため、彼は、暗殺依頼を断り・・・逆恨みされ・・・捕まった、

彼の妖力が一番下がる日に・・・それは10月31日、

彼の命日だ・・・

・・・ガチャッ・・・

・ 部屋のドアが開く・・・この部屋には普段監視の者も誰一人こない・

（・・・誰だ・・・？）

ドアが開き、かなりの速さで、ファントムが捕まってる檻の元へ来たようだ

（・・・この靴の音・・・聞き覚えが・・・）

・・・ガチャガチャッ

檻の鍵がはずされてる・・・？

・・・バキッ・・・ドガッ・・・

外されている・・・というより、檻を破壊しているようだ・・・

（・・・この気の短さ・・・あいつか・・・）

そして、口のガムテープと、目隠しが外され、

「ファントム、遅れてごめんな・・・」

ファントムを助けに来たのは、金髪で、真っ赤な瞳の男
名はナイト・メア

「・・・無駄口叩いてる前に鎖とか手錠外せ」
軽くいらだちながらファントムが言う

「わーっだから、」

ジャラッ・・・バリッ

ナイトが足に巻かれた鎖と手錠を外しだす・

・・・だが、やはり破壊した、

「もう少しまともにはずせやッ!」

足が自由になったとたんファントムは
足で手に巻かれている鎖や手錠を蹴る

「・・・く、碎けた・・・;:;:」

「足さえ自由になりやこつちのもんだ」

ファントムはいとも簡単に、手錠や鎖を粉碎したようだ・

「まあ・・・そーだけどさ・・・」

「でさ・・・今、西暦何年？」

ファントムがそれを聞いたとたん・・・ナイトが口を閉じる

「・・・・・・・・」

「・・・何故言わないんだ？」

「・・・今は2008年・・・4月1日です」

その言葉にファントムは驚きを隠せなかった、
彼が捕まったのは1400年代ぐらいなほど、
約600年もの間捕まっていたなど、信じたくもなかった・・・ボン
ゴレ1世が居ないことも、

「……………そうか……」

一応……冷静なように振舞う

「はい……、でも一応はボンゴレに所属してるぜ??、そんなに落ち込むなよ……な?」

「……………そうか……」

いくらナイトが言おうとも、ファントムは同じ言葉しか言わない

「あ、そうだ、9代目からなんだが、今日中に、日本へ飛ぶぜ??」
ナイトがふと思いついたかのように言う

「……何故、日本へ行かねえとなんねえんだ?」

「日本に、ボンゴレ1世の血を引く、ボンゴレ10代目……沢田綱吉が居るからだ」

「……………わかった」

(……………1世の血縁者……?……)

こうして……二人は日本へと旅立った、
ボンゴレ10代目沢田綱吉に会うためだけに……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5890f/>

妖怪達来る！

2010年10月10日10時59分発行